

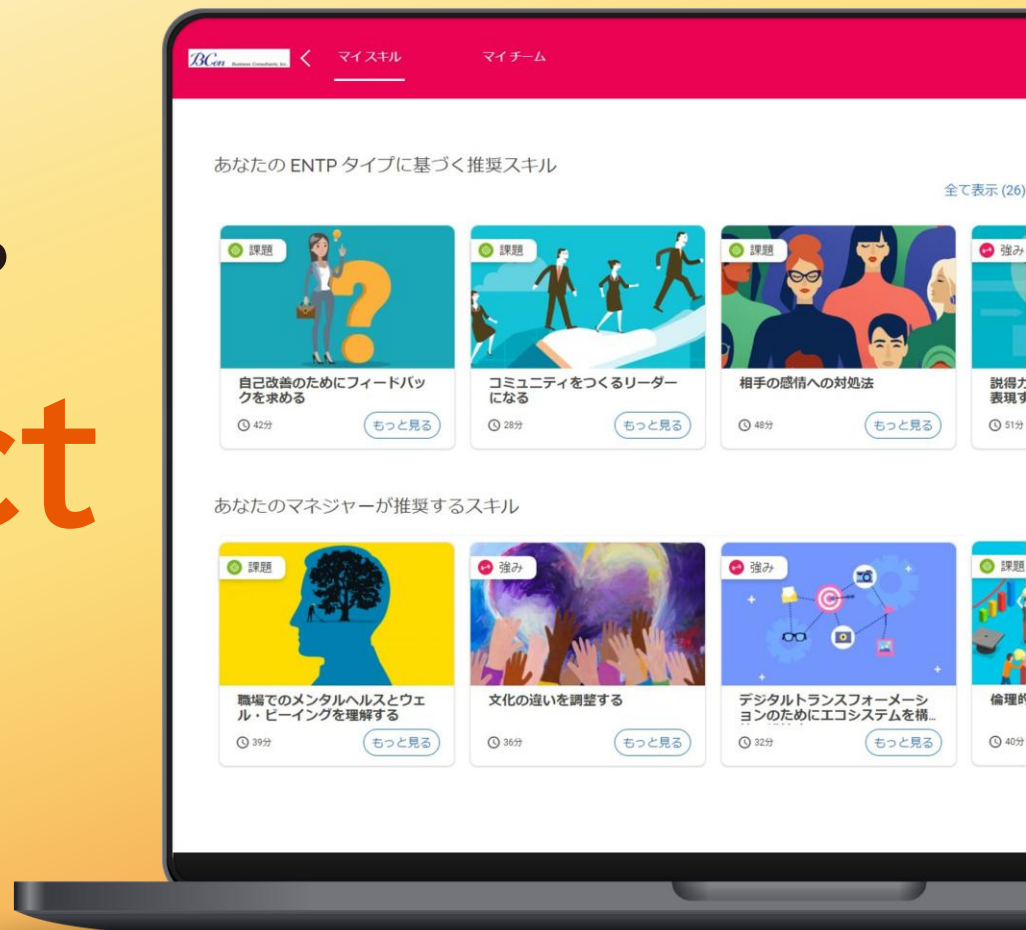
一人ひとりに合ったラーニングパス

自律型学習を加速し、
スキル開発を最大化する

CK-Connect



CROSSKNOWLEDGE



パーソナライズ学習

個々人の「興味」や「強み」「課題」に合わせて、**一人ひとり異なった学習内容にカスタマイズ**すること



自分に強み・課題に合った学習コンテンツによって、**自発的な学習を促す**ことができる



個々の理解度に合わせて、学習を進め、**成長・改善する機会を設ける**ことができる



各社員がどのようなスキル開発が必要か把握でき、**人材配置、組織開発に活かす**ことができる

CK-Connect とは



＼ 所要時間 10分 ／

パーソナリティタイプ診断



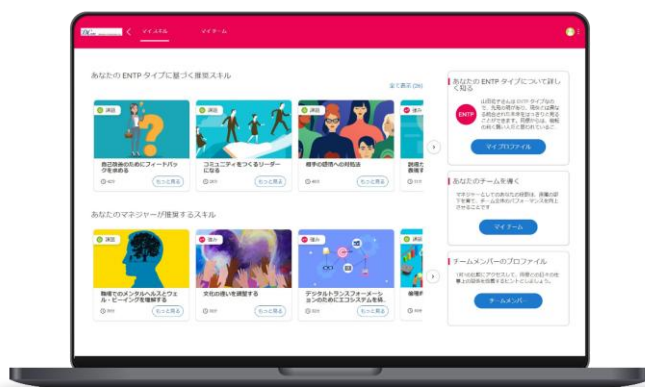
＼ 強みを伸ばす・課題を補う ／

スキルの自動レコメンド



＼ 自発的に学習が進む ／

eラーニング



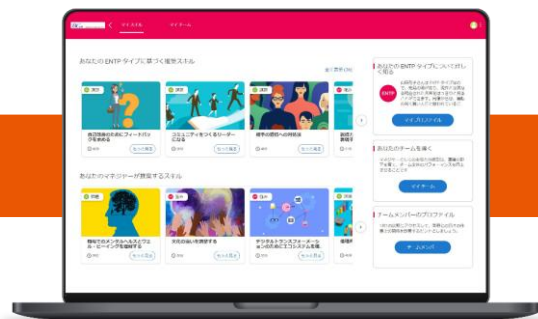
CK-Connect

学習機会の提供において、こんなお悩みはありませんか？

各自のニーズや啓発点、
理解度にあった学習に
なっていない

全員が見れるeラーニング教材
や動画教材を用意しても、
受講してくれる人が少ない

必修の学習のみ実施し、
自律的な学習をする
社員が少ない



そのお悩みを「CK-Connect」で解決します

1 プラットフォーム活用ですぐにわかる
ユーザーインターフェース

2 データから見える 一人ひとり
異なった学習コンテンツの提供

3 会社・上司からの期待を含めた
個別学習コンテンツの提供

4 自身の強み・課題など
現状の理解

CK-Connectには **受講機能** と **管理機能** を兼ね備えた「学習システム」が付属

受講機能



eラーニング受講機能

インプット

- 動画の視聴
- 資料ダウンロード（社内文書、オフィスソフトなど）
※貴社内の動画や資料掲載も可能
- 200コース以上のコンテンツ
- 自身の受講必須コースの表示
- 最近受けたコースの表示（進捗状況を含む）
- お気に入りコースの登録
- 一部視覚、聴覚障がい対応コンテンツあり



eラーニング受講機能

アウトプット

- 課題提出、講師からのフィードバックがもらえる
- 受講者同士で共有可能な課題提出
- アンケートの回答（受講満足度など）
- 理解度テストで管理者が設定する合格基準に達するまで実施



SNS機能による情報発信

- 文章での情報発信が可能
- 受講者がpptやテキストファイルをプラットフォームに共有することが可能



CK-Connect

- 個人診断からコンテンツ自動レコメンド機能
- 上司・部下の設定が可能



研修申し込み

- 登録受講者が自身で研修申し込み日程の選択・申し込み

管理機能



コンテンツ管理

- コンテンツの作成・更新・消去
- コンテンツ掲載無制限
- PDFやoffice系の資料を組み合わせることが可能
- 各コンテンツに対する受講状況の確認



学習ポータル作成／管理

- 等級、職種、プロジェクト独自の画面設計ができる



受講者管理／受講履歴確認

- 任意の項目で受講者登録が可能（階層、所属エリア、勤続年数など）
- 上記取り込みデータに合わせたグループ管理が可能
- 個人ごとにこれまで何を受けたかや紐づいた各コースの進捗率が確認できる
- 受講者が提出した課題のダウンロードができる



多言語対応

- 英語、中国語などの多言語対応



研修コース作成／管理

- 受講する順序が明確に設定
- 各コースの進捗状況の管理
- 月間総合アクティブレポートの確認
- 接続統計の確認
- コースごとに講師の設定
- コース作成無制限



アンケートの作成及び結果の抽出

- 任意の項目での作成、抽出が可能



メール自動配信

- 任意の日時を設定し自動配信
- 未受講者へのリマインド配信



他社コンテンツの掲載

- SCORM規格に則るeラーニングの掲載

商品紹介・受講の流れ



STEP1

自分自身を知るための
パーソナリティタイプ診断の実施

- 自身に対する68問の質問に答え、16のタイプ分けを行います

STEP2

個人の強みと課題の整理（結果の表示）

- 自身の強みは何か、また課題は何か整理され表示される
- チームメンバーとの関わりにおけるアドバイスも表示される

STEP3

タイプに基づき関連する
推奨コースを取得（推奨コースの表示）

- パーソナリティ診断を基に強みを伸ばす・課題を補うための推奨コースが表示される
- マネジャーから個別にコースを推奨することも可能

STEP4

推奨された学習を実施する

- パーソナライズされた学習コースを学び、自身の仕事のパフォーマンスにつなげる



所要時間 約10分
16タイプに分ける
ことが可能

診断は、1920年代にスイスの精神科医カール・ユングが作成したカテゴリを使用しています。

今日のAll Types™診断は、ユングの洞察と現代心理学の理論を組み合わせたものです。

チームメンバーが自分自身と同僚をより良く理解し、より良い協働作業を行うためにこの診断が組み込まれました。

All Types™診断では4つのディメンションを連続する尺度で測定します。所要時間約10分、68問で構成されています。

Extraversion ⇔ Introversion 外向型 ⇔ 内向型	E/I	E: エネルギーを外の世界に向ける 社交的でよく話す I: エネルギーを内なる世界に向ける 控えめで思慮深い
Sensing ⇔ Intuition 感覚型 ⇔ 直観型	S/N	S: 具体的に考える 実践的 N: 抽象的に考える 独創的
Thinking ⇔ Feeling 思考型 ⇔ 感情型	T/F	T: 論理性と客観性を重視する 意志が強く現実的 F: 個人的な価値観と思いやりを重視する 情にもろく優しい
Judging ⇔ Perceiving 判断型 ⇔ 知覚型	J/P	J: クローズでありたい 構造化され計画されている P: オープンでありたい 構造化されておらず適応性がある

事例 | 一般社員 鈴木さんの場合



鈴木一郎一般

ISFP

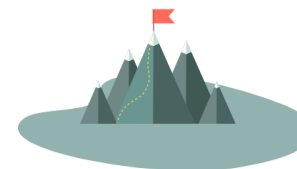
鈴木一郎さんは ISFP タイプなので、観察力があり、臨機応変で、適応力があります。流れに身を任せることが好きで、自由に行動して自分で試してみることが好みます。制約に不満があっても、あまり動じません。オープンな姿勢で周囲の人を受け入れ、誰も失望させないように最後までやり遂げることを大切にしています。

あなたの強み



あなたは ISFP タイプなので、最も顕著な強みは、エモーショナルインテリジェンス（感情をうまく取り扱う能力）や他人への思いやりから来ていると思われます。人の話に耳を傾け、相手が伝えようとしている内容を真剣に受け止め、相手が自分のことを大切にして理解してくれていると感じさせることを優先する傾向があります。また、一緒に仕事をしている人たちにフィードバックをするときは、感情を傷つけないように敬意を払って礼儀正しく行うでしょう。

あなたの課題



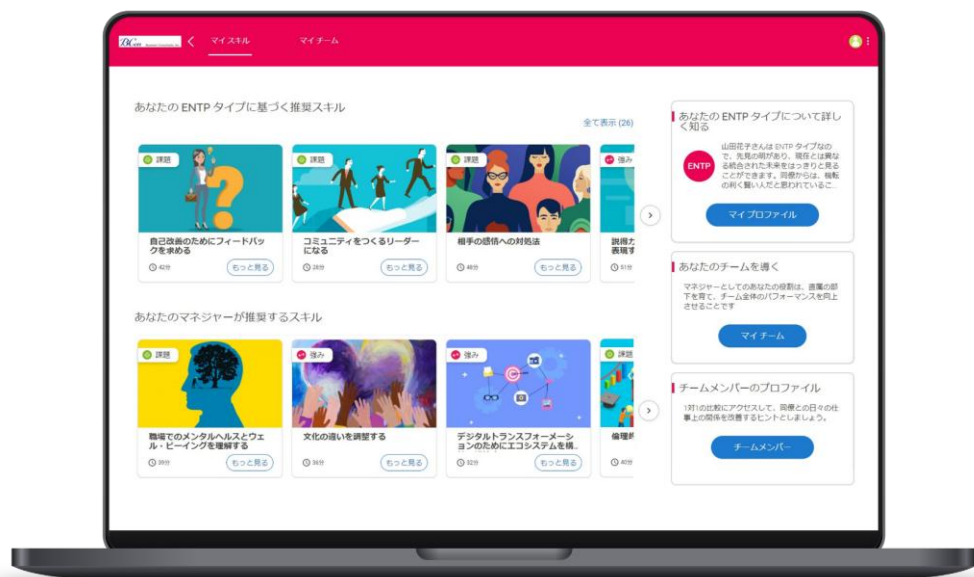
多くの人と同様、人生における最大の課題は、最大の強みから来ているかもしれません。例えば、人の話を聞いてサポートすることを重視するあまり、自分自身の能力の評価を後回しにしてしまうかもしれません。こうした「自分を最優先に考えたくない」という気持ちから、対立しているときに発言することをためらい、不快な思いをさせるくらいなら相手の思い通りにさせた方がよいと思ってしまいます。



レポートの
ダウンロード
が可能



あなたのタイプ	16タイプに分類され、自身のタイプについて表示されます	プロフィール	4つのディメンションについて表示されます
あなたの強み	あなたの強みについて解説が表示されます	どのように誤解されているか	自分自身が他人からどのように誤解されやすいかが表示されます
あなたの課題	あなたの課題について解説が表示されます	気づいていない点	自分自身が気づいていないかもしれない点が表示されます
タイプについて詳しく知る	分類されたタイプについて詳しく解説が表示されます	個人レポート	上記内容についてレポートとして整理されダウンロードできます
チームメンバーとのプロフィール比較	自身が所属するチームメンバーとの「フラストレーションの種」「人間関係のアプローチ」「プロジェクトでの協働」「対立への対応」についてアドバイスが表示されます		



診断結果に基づいて、各個人に推奨される学習コース「スキルパス」が表示されます。

【強みを更に伸ばす】【自身の課題を補う】ための観点でスキルパスが自動でレコメンド(おすすめ)されます。

また自身のマネジャーがメンバーに手動で推奨することも可能です。

スキルパスは標準搭載で202コースを用意されています。

マネジャーが
メンバーに
スキルを推奨



スキルパス一覧(標準搭載:202コース)

リーダーシップ

1	AIの生かし方を考える	19	DXを実現する	37	成長に向けて提携を結ぶ
2	AIをビジネスに生かす	20	スタートアップのようにイノベーションを起こす	38	コーペティション：競合他社と連携する
3	AIを活用したデータ分析を 意思決定に役立てる	21	インサイトを探求する	39	社会的意義を重視した戦略で成長を目指す
4	AIの導入に備える	22	顧客の課題を突き止める	40	企業倫理を理解する
5	AI活用法を見極め、評価する	23	ソリューションのプロトタイピング	41	倫理的な組織をつくる
6	AIへ戦略的に投資し、成功を評価する	24	ビジネスモデルを革新する	42	CSRの目標を達成する
7	AI導入のスムーズな進め方	25	イノベーションを成功させるための方向転換 — ビボットをマスターする	43	マネジャーとしての倫理的貢献
8	AI時代に対応した コンピューショナル・リーダーシップを強化する	26	有望なイノベーションを拡大する	44	日々の業務において倫理的に貢献する
9	生成AIを活用する	27	組織のイノベーション能力を高める	45	不確実性を乗り越える
10	AIのコパイロット、トレーニングボット、群知能を 活用して的確な意思決定を実現する	28	持続可能かつ効果的な業績を達成する	46	不確実性に対する発想を転換する
11	AIを活用して従業員のエンゲージメントと ウェル・ビーイングを向上させる	29	自社に適した成長路線を見つける	47	不確実性に備える
12	リーダーとしてAI-Readyな 文化と戦略を推進する	30	カスタマーエクスペリエンスを成長の原動力にする	48	不確実性に対処する
13	責任を持ってAIを業務に活用する	31	顧客基盤への浸透	49	不確かな状況で前に進み続ける
14	AI時代の危機管理	32	新規市場へ参入する	50	社内起業家精神を組織に生かす
15	DXを探る	33	製品ラインの拡大	51	能力開発とキャリアに対して 社内起業家的なアプローチを取る
16	DXを推進するためのプラットフォーム戦略	34	顧客と製品の多角化によって成長を目指す	52	横の関係においてリーダーシップを発揮する
17	DXのためにエコシステムを構築・維持する	35	販売の最適化	53	VUCA時代のリーダーシップ
18	デジタルの世界で効果を発揮する ビジネスモデルの設計	36	顧客離れを防ぐ	54	新たな困難を乗り越える

スキルパス一覧(標準搭載:202コース)

リーダーシップ

55	リーダーシップ契約を結ぶ
56	思慮深いリーダーになる
57	リーダーとしての義務を果たす
58	リーダーとして難題に取り組む
59	コミュニティをつくるリーダーになる
60	リーダーシップの妨げとなる 20の悪い癖を回避する
61	自己改善のためにフィードバックを求める
62	フィードバックを受け入れ、建設的に対応する
63	周囲を巻き込んで自己改善を図る
64	リーダーとして常に成長できるよう 自己改善に取り組む
65	変革プロジェクトにおけるチーム支援
66	機敏な業務体制を構築する
67	複雑な問題の解決を促す環境
68	チームの価値観やモチベーションの構築
69	効果的なリーダーシップにおける ストーリーテリングの役割

スキルパス一覧(標準搭載:202コース)

マネジメント

70	心理的安全性を理解して評価する	88	新任マネジャーとして チームの強みと弱みを理解する	106	会議内容を限定することで パフォーマンスを向上させる
71	サイレンシング・メカニズムの認識	89	新任マネジャーとしてチームメンバーを知る	107	会議への関与を促す
72	心理的安全性のメリットを生かす	90	新任マネジャーとして 建設的な第一歩を踏み出す	108	効果的な会議システムを組織として整備する
73	心理的安全性の土台をつくる	91	エクセレンスをスローガンにする	109	チームメンバーのコーチング
74	参加を促す (心理的安全性の高い職場のために)	92	人を第一に考える	110	建設的なフィードバックを行う
75	建設的な対応	93	卓越したイノベーションを実現する	111	ニーズを共有し、チームを強化する
76	世代を超えたコミュニケーション	94	人間にしか生み出せない付加価値	112	部下をよく知ることモチベーションを高める
77	無意識のバイアスに組織として取り組む	95	優れたリーダーへの道を切り開く	113	達成につながる目標設定
78	リバーサメンタリングで双方向の学びを生かす	96	リモートチームの体制を整える	114	SMART手法で意欲向上につながる 目標を設定する
79	多様性とインクルージョンを受容する	97	リモートワーカーと信頼関係を築く	115	危機的状況への対処法
80	アライシップに挑む	98	ハイブリッドチームのマネジメント術	116	チーム内の問題に対処する
81	マイクロアグレッションとバイアスを制御する	99	ハイブリッドワークに適した人材の採用	117	デジタル時代のチームマネジメント
82	職場のインクルージョンを高める 公平性と平等性のバランス	100	ハイブリッド環境でのオンボーディング	118	建設的な行動によって協力を促す
83	女性のリーダーシップを活用する	101	職場のウェル・ビーイングを向上させる	119	チームにアカウントビリティを浸透させる
84	マネジャーとして部下の基本的な期待に応える	102	従業員の燃え尽き症候群に対処する	120	効果的に仕事を任せる
85	メンバーの成熟度とマネジメントスタイル	103	メンタルヘルスの問題を抱えている 部下をサポートする		
86	新任マネジャーとしての自分の役割を把握する	104	いじめやハラスメントのない職場環境を整える		
87	新任マネジャーとして 担当部門の現状を把握する	105	自殺思考に苛まれている部下をサポートする		

スキルパス一覧(標準搭載:202コース)

個人能力の開発

121	ハイテク時代の クリティカル・シンキングを理解する	139	自分のキャリアや可能性を棚卸しする	157	在宅勤務
122	クリティカル・シンキングの基礎を固める	140	自分らしいキャリアパスを考える	158	リモートワークへの適応
123	推論で主張を強化する	141	経験や能力から 目標につながるストーリーをつくる	159	効率的な仕事の計画を立てる
124	推論の穴を見抜く	142	プロフェッショナルな新しい自分をアピールする	160	効率的な時間管理のために
125	相手の主張を素直に受け入れる	143	継続的な成長のために学習機会を活用する	161	クリエイティブなアプローチ
126	説得力のある形でアイデアを表現する	144	フィードバックを活用してキャリアアップを目指す	162	デザイン思考を生かす
127	時間と注意力を管理する	145	メタ認知を活用する	163	協調的な意思決定
128	マインドフルネスを理解する	146	自己理解を深める		
129	マインドフルな気付きと認識を得る	147	モチベーションの源泉を特定し、活用する		
130	マインドフルな受容を目指す	148	自分の潜在能力を最大限に発揮する		
131	執着を手放して先に進む	149	ワークライフバランスを管理する		
132	初心に帰って人生に臨む	150	職場でのメンタルヘルスと ウェル・ビーイングを理解する		
133	集中力を高める	151	仕事におけるウェル・ビーイングを確保する		
134	是非を決めつけない	152	職場でのメンタルヘルスを管理し、 危機に対処する		
135	マインドフルな忍耐力をつける	153	ハイブリッドワークを理解する		
136	複雑性を理解する	154	ハイブリッドワークを成功させるための準備		
137	複雑な問題を解決するための考え方	155	リモート環境でシームレスな コラボレーションを実現する		
138	複雑な問題を解決するための確実なプロセス	156	ハイブリッドワークで会議を充実させる		

スキルパス一覧(標準搭載:202コース)

対人能力の開発

164	万全の備えで新たな職務に臨む	182	エモーショナル・インテリジェンスを理解する	200	チームでのブレインストーミングを最大限に活用する
165	職場の同僚に好印象を与える	183	自分の感情への対処法	201	目的の明確な会議を構成する
166	新しい仕事で結果を出す	184	相手の感情への対処法	202	質の高い会議を運営する
167	職場で良好な人間関係を築く	185	前向きな姿勢を培う		
168	日々のパフォーマンスを強化してキャリアアップを図る	186	共感を実践して職場の人間関係を改善する		
169	キャリアをマネジメントする	187	アサーティブネスで自信を持つ		
170	暗黙のルールを理解してインターンで成果を上げる	188	障害を克服して好奇心を解き放つ		
171	ストーリーテリングの要素を理解する	189	好奇心を活用して生産性と同僚との関係を改善する		
172	説得力のあるストーリーを組み立てる	190	好奇心をリーダーシップに生かす		
173	印象的なプレゼンテーションを行う	191	アカウントビリティへの意識を高める		
174	人前でのプレゼンテーションに備える	192	自分に対するアカウントビリティを極める		
175	言い換えによって聞く力を高め、明確な意思疎通を図る	193	非公式のネットワークを活用する		
176	説得力の強化	194	コネクショナルインテリジェンスを高める		
177	顧客の信頼感を高める	195	多文化チームのメリットとデメリットを明らかにする		
178	自分らしい交渉スタイルを見つける	196	文化の違いを7つの側面から理解する		
179	相互利益アプローチを活用する	197	文化の違いを調整する		
180	葛藤プロセス	198	コラボレーションを促進する ー 特にリモートワークにおいて		
181	対立状況への対処法	199	正しい心構えで会議に臨む		

スキルパス概要

リーダーシップ

持続可能かつ効果的な業績を達成する



持続可能な組織は、環境や社会的責任の成果と経済的成果を異なるものとは考えず、そこに相互依存関係を認めます。

このコースでは、障害を克服し、組織として持続的に価値を創造する方法を紹介します。

マネジメント

デジタル時代のチームマネジメント



今、私たちはまさに働き方改革を経験しています。集団的知性を活用して強力な協業ネットワークを構築できる企業は最強です。このような企業の社員はさまざまなスキルを備え、期待を抱いています。このコースは、彼らを理解し、管理する上で役立ちます。

個人能力の開発

仕事におけるウェル・ビーイングを確保する



適切なアプローチをして限度を設ければ、仕事は秩序と意味をもたらし、より良いウェル・ビーイングにつながります。

しかし、意図的にコントロールして自制しなければ、仕事の要求やストレスの連鎖が制御不能になり、健康を損なうことがあります。長時間にわたって机に向かっているだけでも、大きな問題になりえます。

このコースでは、ウェル・ビーイング全体にプラスの影響を与えるように仕事をコントロールするさまざまな方法をご紹介します。

対人能力の開発

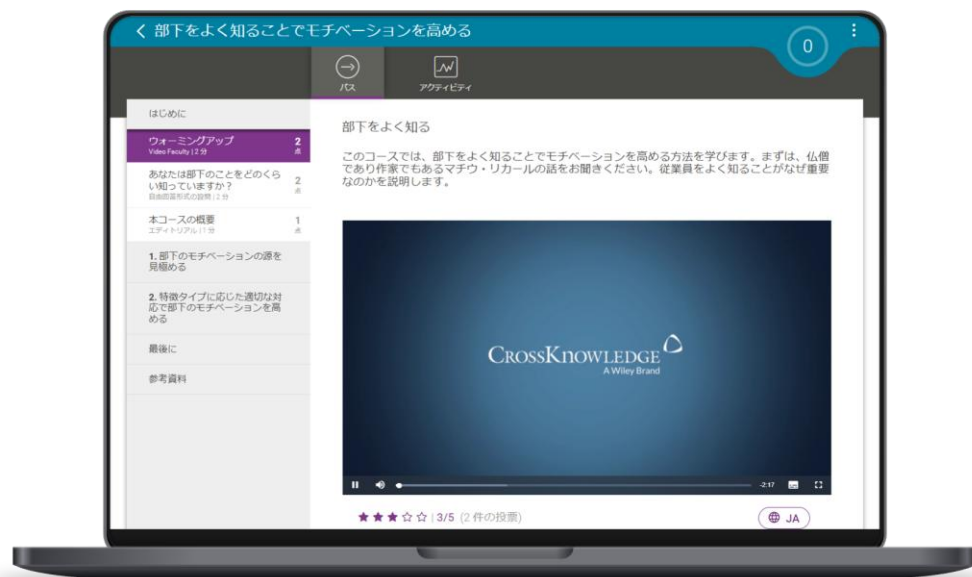
アサーティブネスで自信を持つ



自信を持ち、主導権を握っているように見える人もいれば、引っ込み思案で人に利用され、自分の要求を伝えたり正当な権利を主張したりすることができない人もいます。

これはなぜでしょうか？自信のある人はどのように行動するのでしょうか？彼らの強さはどこから来るのでしょうか？

このコースでは、アサーティブな行動を取るためのコツをいくつか紹介します。



自由回答式の質問



アンケート

特徴1

短い学習時間、モバイルに対応

適切な学習ができ、完全にモバイルで実施することが可能で、コース約15分～最大45分のコース設計になっています。

特徴2

考えさせることを意識したアクティビティ

アンケートや自由回答式の質問に答えることで次の学習に進むことができるなど、インプット学習後に個人で考える時間を設けた設計になっています。それによりただ見るだけのeラーニングではなく、自分事としてとらえることが可能になります。

特徴3

パーソナライズ学習が可能

※オプション

パーソナリティタイプ診断の結果をベースに各個人におすすめコンテンツを推奨することが可能。

会社概要・お問い合わせ



会社名 : 株式会社LDcube

所在地 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル2F

役員 : 代表取締役社長 新井澄人
取締役 山元孝之
監査役 加藤 裕

設立 : 2023年4月3日

株主 : 株式会社ビジネスコンサルタント(100%)

資本金 : 3,000万円

事業内容 : 組織の活性化、人材育成ならびに営業強化のための各プロダクト並びに
関連サービスの販売・提供

株式会社LDcubeは組織開発や人材開発の分野で60年に渡り支援してきた株式会社ビジネスコンサルタントの子会社として2023年4月に設立されました。

コロナ禍を経てDXが加速する社会において、組織内における学び方も進化しています。

LDcubeは学び(Learning)を発展(Development)させるだけでなく、効果的なデザイン(Design)を行い、かつそこにDXを取り入れ沢山の人たちと学び合う環境を作ることによって学びに奥行きを持たせ、個人と組織の学びを立体的に、学びの総量を増やし、個人と組織のパフォーマンス向上に貢献していきたいと考えています。

本プログラムのサービスリリース直後の特別価格としてご用意しております。

そのためいくつか条件がございます。詳細は条件欄をご覧ください。

対象人数	～100名まで
期 間	ID配布より 1年間
価 格	¥1,000,000-（税抜）
備 考	● 100名未満での利用も同価格になります（個社別プラットフォームでの運用のため） ● 同時にLMS（学習管理システム）としての機能もご利用いただくことが可能です ● また、100名を超える場合には別途お見積りをさせていただきます
条 件	● 導入後お客様のお声をインタビューさせていただきます ● 導入企業としてご紹介、または企業ロゴを活用させていただくケースがございます



学 び に 発 展 と 奥 行 き を

LDcube

Learning Development × Design × DX

CROSSKNOWLEDGE

お問い合わせ



学 び に 発 展 と 奥 行 き を

LDcube

Learning Development × Design × DX

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル2F

TEL:03-6871-0511 (代)